

令和5年10月27日

保護者様

京都市立翔鸞幼稚園
園長 平松 美和

幼稚園評価の結果について

園庭では秋の虫の音が聞こえる季節となっていました。保護者の皆様におかれましては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。平素より本園の保育・教育にご支援ご協力賜りありがとうございます。

先日行われました運動会では、「子どもたちのやってみたいこと」を大切にしながら、心と体を目一杯動かしながら遊んでいる姿を見ていただきました。運動会は子どもたちにとってはあくまでも通過点。まだまだ、遊びは進化し続けていくのではないかと思います。言いかえると、子どもたちは遊びを通して学び続けているということになります。運動会の遊びを通して子どもたちが身につけた学びは宝物です。これから遊びや生活の中できっと生きてくると思います。また、保護者の皆様におかれましては、準備から当のお手伝いまで大変お世話になりました。心よりお礼申し上げます。

さて、先日実施しました幼稚園評価にご協力いただき、ありがとうございました。評価アンケートの結果をグラフ化し別紙にまとめましたのでご覧ください。全体的には、「幼稚園・教職員の様子」と「小学校や地域との連携」の領域でおおむね良い評価をいただいています。「子どもの様子」につきましては、自分のお子様についての評価ですので、多少、ばらつきがあります。

【子どもの様子】

1 「登園を楽しみにしている」・2 「自分から遊びを見つけて、元気よく遊んでいる」
8 「色々なことに興味を持って聞いたり行動したりする」・9 「すごいね、ふしぎだね、えー?やったーなど感動している」の項目に関しては「そう思う」「だいたいそう思う」の回答が合わせて100%でした。

※この結果は、子どもたちが幼稚園で心を動かしながら主体的に遊んでいるからこそだと考えます。自由な遊びを通して、子どもたちは『“ときめき”と“ひらめき”』を繰り返しながら、まさに非認知能力を育んでいます。その姿を私たちは、「子どもたちがただ遊んでいるだけ」ではなく、具体的にどのような力を育んでいるのかを皆さまにお伝えし、共有していきたいと考えています。翔鸞幼稚園のHPやインスタで遊びの様子を発信したり、園庭側の門近くのフェンスに『ときめき・ひらめきエピソード』を毎月掲示したりしていますので、どうぞご覧ください。

3 「自分でできることは自分の力でやろうとする」・5 「友だちや物などを大切にしようとしている」・7 「自分の思いを話そうとしている」・10 「子どもは相手を意識したり思いやったりする方向に発達していっている」の項目に関しては「そう思う」「だいたいそう思う」の回答が合わせて95%、6の「人の話を聞こうとしている」の項目に関しては「そう思う」「だいたいそう思う」の回答が合わせて90%でした。

※これらの項目に関しては、年齢が上がるにつれて、良い評価になっています。子どもたちの発達年齢が高くなるにつれて、子どもたち自身の意識が出てきたり、手先

が器用になってきたり、語彙が増えてきたりすることで、「自分の力ができる」ことが多くなってくるのだと思います。子どもたちが、自分でやってみようとする姿をしっかりと認めたり、褒めたりして自信をもたせてあげたいですね。そして、子どもたちが失敗しても時間がかかっても、じっくりと見守り、励まし、「できた」を感じる援助も大切にしていきたいと考えています。

4「まわりの人にあいさつができる」との項目では、「そう思う」「だいたいそう思う」の回答が67%、「あまりそう思わない」は33パーセントでした。

※年齢が上がるにつれて「恥ずかしい気持ち」や「照れくさい気持ち」が出てきている姿も見られます。毎日、登降園時には必ずあいさつを交わしたり、来客のある時には、お客様にご挨拶をしたりすることを促していますが、気持ちの良いあいさつをすることが子どもたちにとって「当たり前」になっていけるよう援助していきたいと思います。ご家庭でもお声掛けよろしくお願ひいたします。

【幼稚園・教職員の様子】

すべての項目において、「そう思う」、「だいたいそう思う」の回答を合わせて100%の評価をいただきました。

中でも13「教職員は明るい笑顔で保育したり子どもに関わったりしている」と16「先生は、保護者の話をよく聞いてくれる」の項目では「そう思う」の回答が100%でした。

※回答の結果に甘んじることなく、子どもの心に寄り添った、丁寧な保育をしていきたいと思います。保育の在り方、子どもたちの様子、子育てで気になることや困っていることなどがありましたら、遠慮なく相談してください。保護者の皆様と幼稚園が協力し合って子どもたちを育んでいきたいと考えています。

※園庭で使っているボールの空気が抜けている時があるので空気を入れてほしいというご意見をいただきました。確認ができておらず申し訳ございませんでした。子どもたちの遊びが充実していくように環境整備を行っていきます。また、何かお気づきのことがありましたらいつでもお知らせください。

【小学校や地域との連携】

それぞれの項目で「そう思う」「だいたいそう思う」の回答を合わせて100%でした。

※今年の5月からはコロナが第五類となったことで、感染症の対策はとりつつも地域の皆様との交流や小学校との連携接続が充実してきていると感じています。特に、地域の方との交流に関しては、苗屋さんの活動やPTA夏祭り等の行事を通して、子どもたちのために大変お力をかしていただきました。12月には、地域の方のお力をかりて「もちつき大会」を予定しています。小学校との連携に関しては、今年度から二年間“架け橋プログラム実践研究園”として翔鸞小学校と連携接続をとりながら、架け橋期の子どもたち（年長児から1年生の二年間のことを架け橋期と言います）にとって、互いにどのような教育をしていくことが大切なのか、そのための教師の役割について考え、実践していきたいと考えています。今年度は幼稚園教員による小学校1年生への出前保育、5歳児研究保育と1年生研究授業に教員が参加。夏季休業中に幼小

合同研修会を行い、幼稚園の保育と小学校の教育を理解し合うことで、子どもたちについての理解と双方の教員の指導力向上につながっていると思っています。また、5歳児と1年生が生活科の授業を通して交流会も予定しています。就学に向けて、子どもたちが憧れの気持ちをもったり、自信を高めたりしていけるように活動内容を考えていきたいと思います。

【その他（預かり保育等）】

21 「預かり保育を安心して活用している」 22 「子どもは、預かり保育で楽しく過ごしている」では、「そう思う」の回答が100%でした。

※これからも、子どもたちも保護者の皆様も安心した気持ちで預かり保育を利用していただけますよう、温かい雰囲気の中で丁寧に保育させていただきたいと思います。何かご心配なことがありましたら、いつでもお知らせください。

◆自由記述欄につきまして、お子様の成長やクラスの子どもたちの成長を喜んでくださっていたり、園の教職員に温かいお言葉を添えていただいたり、読ませていただき園として感謝の気持ちでいっぱいになりました。本当にありがとうございます。また、ご質問等に関しましては個別にお答えしています。今後とも気付かれたことは、いつでも気軽にお話していただければありがたいです。よろしくお願いいいたします。